

# 市役所跡にメディアセンターを!



## クールジャパン国際都市

## YouTube世界一都市

### ◆市役所移転は浦和繁栄のチャンス!

さいたま市のまちおこしNPO「さいたま市民ネットワーク(森田孝理事長)」は、さいたま市役所移転を浦和にとって最高のチャンスと受けとめ、浦和をクールジャパンの国際拠点観光都市として、現在の100倍繁栄する「国際都市浦和」に発展させるという「うらわ100倍繁栄プロジェクト」を発表しました。

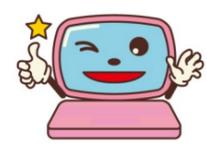
### ◆URAWA100倍繁栄PROJECTの概要

- 1 市役所機能移転後の建物へ、2009年に計画された「国立メディア芸術総合センター」を復活誘致して「さいたま市メディア芸術総合センター(さいたまメディアセンター)」とする。
- 2 「さいたまメディアセンター」を中心に3ゾーンを展開。
  - ▶うらわゾーン=浦和駅周辺。
  - ▶新都心ゾーン=北浦和・与野・さいたま新都心駅周辺。
  - ▶公園ゾーン=旧庁舎周辺。
- 3 3ゾーンの公道全域に、アニメ銅像を設置。
- 4 3ゾーン周遊「ヌウバス」の運行。
- 5 日本国内・海外からの観光客誘致・宿泊施設の整備。
- 6 官・民・学の共創プロジェクト策定推進委員会の確立。
- 7 地域・学校連携によるボランティアスタッフ組織の結成。

### ◆さいたまメディアセンターの機能(案)

- 1 「ユーチューブ動画」高機能編集スタジオ。
- 2 コンピュータ制御による芸術劇場。
- 3 さいたま市立漫画会館。
- 4 総合eスポーツ競技スタジオ。
- 5 国際アニメ・マンガ・メディア芸術資料館。
- 6 メディア芸術市民大学。
- 7 メディア芸術ショッピングモール。
- 8 「AnimeJapan(アニメジャパン)」常設館。
- 9 「世界学生漫画ワールドカップ」開催。
- 10 レトロ自販機ミュージアム。
- 11 クラシックゲームセンター。
- 12 小学生プログラミング大学。
- 13 メディア福祉総合研究所。
- 14 ゆるキャラ国会議事堂。

プロジェクトを発表した同NPOでは、「この案を、市役所跡地有効活用議論の起爆剤としたい。オールさいたまで、世界が目する施設を共創していく」と計画しています。



## 埼玉県がシルバーeスポーツを紹介!

埼玉県政広報TV番組  
いまドキッ!埼玉  
9月10日(土)あさ8:30テレ玉

県民公論社は、さいたま市と共に、市民満足度の向上とSDGsの達成に向けて取り組む「CS・SDGsパートナーズ共同宣言」を締結。本紙はSDGs推進の環境適正印刷方式で作成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 県民公論 電子版

## 清水勇人市長あいさつ 令和4年さいたま市議会6月定例会

# 市民の命や生活を守ることを最優先!

■気を緩めず感染拡大防止対策を進める

新型コロナウイルス感染症につきましては、決して楽観できる状況にはないと認識しております。感染の再拡大を防ぎながら、社会経済活動を回復させていくため、引き続き気を緩めることなく、市民の皆様と一丸となって感染拡大防止対策を進めてまいります。

ワクチン接種につきましても、感染予防や重症化予防に効果がある3回目接種を確実に進めるとともに、60歳以上の方や、18歳以上59歳以下の基礎疾患を有する方等への、4回目接種を速やかに実施できるよう準備を進めてまいります。

■感染拡大防止と社会経済活動の両立

今後も、市民の皆様や生活を守ることを最優先に、感染再拡大や新たな変異株の発生など、あらゆる事態に迅速かつ確に対応していくとともに、ポストコロナ\*1を見据えながら、市内経済の回復、活性化のための取組を進め、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ってまいります。

■本市が全国初「脱炭素先行地域」

4月26日に本市は、国より全国で初めてとなる脱炭素先行地域として、他の25地域とともに選定されました。この脱炭素先行地域は、2050年カーボンニュートラル\*2に向け、地域特性に応じた先行的な取組を実施し、2030年度までに民生部門の電力消費に伴う二酸化炭素の実質ゼロを実現することで、脱炭素の取組を全国へと広げていくモデルとなるものです。

■公民学共創でゼロカーボンシティ実現

本市は、国に先駆けて令和2年7月に、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ、いわゆるゼロカーボンシティを目指していくことを表明し、市民、事業者、行政等のあらゆる主体と連携、共創\*3しながら、一丸となって脱炭素社会に向けた持続可能な都市の実現に取り組んでまいりました。こうした中、本市が埼玉大学、芝浦工業大学、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社とともに提案した、「さいたま発

の公民学によるグリーン共創モデル」は、自治体主導の共創モデルとして、全国の自治体へ横展開が可能なものと考えております。今後も、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、国や民間企業等の様々なステークホルダー\*4と連携を強化しながら、公民学共創により取り組んでまいります。

■待機児童ゼロ達成

次に、4月1日現在の本市の保育所等利用待機児童数がゼロとなりました。これは平成29年度以来5年ぶりのことであります。子育て世代の社会増が続く本市にとって、待機児童ゼロの実現は一貫して重要課題であり、認可保育所等の整備や送迎保育ステーションの設置を進めるとともに、子育て支援型幼稚園や認定こども園を拡充するなど、多様な保育の受け皿確保に積極的に取り組んでまいりました。その結果、利用申込者数が過去最多となる中においても、待機児童ゼロを達成できたものと考えております。

■子育て楽しいさいたま市実現へ

待機児童ゼロの維持に向けては、多様な保育の受け皿確保だけでなく、保育人材の確保や、保育に係る相談支援体制の強化を進め、「子育て楽しいさいたま市」を実現するため、安心して子育てできる環境整備に全力で取り組んでまいります。

■誰一人取り残さない包括的な支援

- 子ども家庭総合支援拠点\*5 4月1日開設  
身近な場所で子育て全般に関する相談や児童等への必要な支援を実施する。
- 福祉まるごと相談窓口\*6 6月1日開設  
福祉の総合相談窓口として複合的な課題を抱えている方等の相談を受ける。  
これらの窓口の開設を通じて、ケアラー\*7・ヤングケアラー\*8などを含め様々な課題を抱えている方への相談体制を強化、誰一人取り残さない包括的な支援の充実を図ってまいります。

(令和4年6月1日 市議会本会議場)



## コロナちゃんのかいせつ

県民公論のマスコット コロナちゃんが解説します。

- \*1.「ポストコロナ」=コロナ禍が終息した後の日々。
- \*2.「カーボンニュートラル」=温室効果ガス排出量を削減し、削減できなかったガスを除去して実質ゼロにすること。
- \*3.「共創」=いろいろな立場の人々が協働・創意工夫して、共に新しい成果を創り上げること。
- \*4.「ステークホルダー」=利害関係者。
- \*5.「子ども家庭総合支援拠点」=各区役所の「支援課」に設置。
- \*6.「福祉まるごと相談窓口」=各区役所の「福祉課」に設置。
- \*7.「ケアラー」=高齢、身体上・精神上の障害・病気などにより援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上のお世話、その他の援助をしているひと。
- \*8.「ヤングケアラー」=18歳未満のケアラー。





### 1. サニタリーボックス

**Q【佐伯加寿美】** がん患者だけでなく、LGBT等様々な理由で男性個室トイレを利用する方に向けた、**サニタリーボックス設置\***への取組、これまでの経緯、今後の方向性について。

**A【保健福祉局長】** 施設を所管する部局で、設置の検討がなされ、区役所や図書館、公民館等の市民利用施設では設置が進んでいる。昨年度から今年度にかけて、男性用トイレへのサニタリーボックス設置については、一定の進展があった。

今後は議員ご指摘のLGBTなど、利用者の方々から寄せられる声などを、新たな社会的ニーズ、その課題、これらの動向も注視する。 **\*埼玉新聞記事→**



### 3. 大宮駅高度化

**Q【吉田一志】** 大宮駅の、東武線からJR線への乗り換え改善、新東西自由通路・改札の新設計画の概要、スケジュールについて。

**A【都市局長】** **大宮GCSプラン2020\***において、東武線を南進、2面3線化及び橋上駅化工し、新東西通路と接続する。新東西通路には新たにJR大宮駅と東武大宮駅の改札を新設することで、駅ホーム混雑の解消及び鉄道相互の乗換距離の短縮といった改善が図られる計画となっている。乗換改善事業は、長期間の工期が見込まれる。大宮駅高度化に向けた取組については、令和6年度の計画決定手続きに入れるよう進める。 **\*大宮GCSプラン2020→**



### 5. 学校でのマスク着用

**Q【石関洋臣】** 学校における子どもたちのマスク着用について。

**A【教育長】** 教育委員会では国からの文書をふまえ、市立学校に学校生活においてマスク着用がない場面を周知し、適切に子どもたちに指導するよう、通知した。子どもたちが感染予防についての正しい知識の元、様々な状況に応じて、マスクを着ける・付けないを適切に判断できるよう指導すること、熱中症などのリスクが想定される場合には、積極的にマスクを外すよう指導することが重要であると捉えている。

**\*「子どものマスク着用について」厚労省・文科省→**



### 7. 市民活動サポートセンター

**Q【富田かおり】** コロナ禍での、市民活動サポートセンター(**サポセン**)の現状と課題。

**A【市民局長】** コロナ禍前の令和元(2019)年度の日平均利用者数は約1,200人、令和3年度は約700人。

令和4年度は、5月末現在で約800人で、回復傾向にある。

令和3年度には、Wi-Fi(ワイファイ)の設置やミーティングアプリを利用したオンライン会議室の貸し出し、サポセンフェスティバルのオンライン開催を実施。

今後、市民活動相談員のスキルアップと専門家との連携体制への構築について検討する。 **\*サポセン→**



### 2. 学校給食

**Q【川村準】** さいたま市では給食費値上げの考えはあるか。値上げをしないならば、栄養基準を満たせるのか。

**A【副教育長】** 本市では、学校給食費の改定を令和2年4月に実施しているため、現在のところ給食費の値上げは考えていない。

栄養基準については、「学校給食摂取基準」として文部科学省が示しており、本市では、各校に配置された栄養士がこれを目安に、基準を満たした献立を作成し、給食を提供。今後も、望ましい栄養量が摂れる学校給食を子供たちに提供できるよう努める。 **\*さいたま市の学校給食→**



### 4. 七里駅改修

**Q【中山欽哉】** 東武アーバンライン七里駅の橋上化・南北自由通路工事\*進捗状況。

**A【市長】** ・完成の時期は、令和5年度末の予定だが、早期の供用開始となるよう努める。

・駅前広場の用地は確保されているが、アクセス道路の用地確保に向けた移転交渉について、権利者と交渉中。

・二次交通(タクシー・バス)導入については、タクシー事業者から、駅前への乗り入れ希望を受けている。バス事業者に乗り入れいただけるよう、バス協会へ強く要望する。

・完成オープニングイベントについては、地元と調整のうえ開催に向けて検討する。 **\*七里駅改修事業→**



### 6. 犬猫マイクロチップ

**Q【関ひろみ】** 犬猫へのマイクロチップ\*装着義務化制度に関して、飼い主への周知と、費用の助成制度創設を。

**A【保健福祉局長】** 本市は、マイクロチップを識別するリーダーを動物ふれあいセンターに設置、市内各警察署などにも、設置を進めている。

マイクロチップ装着費用の助成制度は検討していないが、装着のメリットに鑑みると、その機運を高めていくことの必要性は感じるので、市のホームページや、各区役所くらし応援室などの窓口で、マイクロチップに関するポスター掲示を行うなど、市民周知に努める。 **\*犬猫マイクロチップ→**



### 8. 人工呼吸器発電機

**Q【小川寿士】** 人工呼吸器を使用している重度身体障害者が停電時に使用する家庭用発電機購入補助事業を、導入してもらいたい。

**A【保健福祉局長】** 人工呼吸器を使用している障害のある方にとって、停電が発生した際の非常用電源の確保について、大変重要な課題であることを認識し、今年4月に当事者の方々からいただいたご要望をふまえ、他自治体の実施状況について、調査を行った。

今後、**先進自治体の実施状況\***を分析し、家庭用発電機購入補助の実現に向け、早急に取り組む。

**千葉県市川市での取り組み→**



令和4年6月さいたま市議会定例会一般質問特集

注目質問・答弁抜粋・要約(文責 本紙)

\*詳しくはQRコードでご覧いただけます



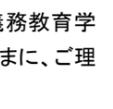
### 9. 沼影市民プール

**Q【金子昭代】** 沼影市民プールは存続させる方向で前向きな検討を行うべき。

**A【都市局長】** 今年度は沼影市民プールのほか、三橋、大和田公園、下落合、原山市民プール各施設の使用及び維持管理状況等の情報収集・分析、現地調査やインターネット調査を実施する。

**Q** 沼影市民プール存続のためにも、学校は別に用地を獲得して作るべき。

**A** 教育委員会が、武蔵浦和学園構想ということで、義務教育学校の計画を進めている。それをしっかりと市民のみなさまに、ご理解いただきながら進めてまいりたい。



### 11. ウクライナ避難民

**Q【土井裕之】** 本市が行っているウクライナ避難民への支援状況について。

**A【市長】** ・さいたま観光国際協会 国際交流センターに、ウクライナ語による相談窓口を設置。・避難者への市営住宅の一時提供として、22戸を確保(1名入居中)。・国際交流センター及び全ての区役所に「ウクライナ人道危機救援金」の募金箱設置。・市内企業等からの支援として、生活一時金や生活物資の提供、携帯電話等の貸出、日本語学習の無償提供等についてご協力。・4月に、部局横断の「ウクライナ難民支援連絡会議」を設置。

**さいたま市民ウクライナ友好協会→**



### 13. 埼大通り

**Q【土橋勇司】** 埼大通りについて、無電柱化やバス専用レーンの設置検討も含めた車道・歩道の再整備が必要。

**A【建設局長】** 埼大通りは、市内東西を結ぶ交通幹線であり、緊急輸送道路に指定。歩道は、大きくなりすぎたケヤキによって、歩行者の通行に課題。

埼大通り再整備については、幅員構成の見直しや無電柱化など、地元と合意形成を図りながら検討する。

街路樹管理と道路環境の整備基本方針については、令和4年7月までに**ホームページで公表\***する。

**\*さいたま市街路樹維持管理基本方針→**



### 15. 核シェアリング

**Q【鳥羽恵】** 市長の「核シェアリング」の受け止めについて。

**A【総務局長】** 市長が、令和4年3月3日の定例記者会見で発言したとおり、核シェアリングについて、日本の基本的な考えとして、非核三原則があることから、これを守っていくという考え方を共有している。

一方、様々な方から、様々な議論が持ち上がっていることは、メディアなどを通じて承知している。

その議論については、それぞれの考えに基づき、発言がなされているとの認識から、肯定も否定もしないとの立場から、記者会見での発言となった。



### 10. 遊休農地

**Q【新井森夫】** 遊休農地の活用を進めるために遊休農地の種類と調査方法、遊休農地の発生防止・解消に向けた取組について。

**A【農業委員会事務局長】** 農業委員会は毎年1回、農地の利用状況調査を行い、農作物の作付が行われず、今後も草刈り・耕起などの維持管理や作付けが行われる見込みのない遊休農地所有者に対して、農地の利用意向調査を実施。

市内では既に、西区の馬宮地区、見沼区・緑区・岩槻区の3区にまたがった、さいたま中央地区、岩槻区の野孫地区・南下新井地区において、**「人・農地プラン」\***の取組を進めている。 **\*「人・農地プラン」→**



### 12. シニアeスポーツ

**Q【西沢鈴子】** 高齢者の認知機能の改善に効果があると指摘されている**eスポーツ\***を公民館などでも取り組んでどうか。

**A【保健福祉局長】** 昨年12月より、一部老人福祉センターで、TVゲームを使用したeスポーツの取り組みを実施している。他の老人福祉センターにおいても、eスポーツの普及に取り組むこととし、今後については、実施可能なスペースの確保や、ゲーム機器・通信設備等の環境の整備を図る。

また、公民館においても高齢者が集う機会等を通じて、eスポーツの紹介を行うなど、周知に努める。

**\*NHK「おはよう日本」→**



### 14. 市民会館おおみや

**Q【吉田一郎】** 市民会館おおみや5階を、**コムナーレ\***にある市民活動サポートセンターのように、市民団体等が軽易な打ち合わせを無償でできるようなスペースにしたらどうか。

**A【スポーツ文化局長】** 5階の部屋やスペースは、大宮駅前に立地する施設の特性を活かし、市民の文化芸術活動の情報発信や国際芸術祭を契機に生まれた市民サポーターの支援の場として使用しており、現在は、市内のギャラリーや文化芸術活動を紹介する掲示を行うなど、市民の皆様等に活用していただいている。

**\*コムナーレ→**



### 16. 武蔵浦和学園構想

**Q【萩原章弘】** 武蔵浦和学園構想について、都市計画道路大谷場高木線と田島大牧線は4車線道路として計画されているが、橋上化(地下化)等をしないと地域が分断されてしまうのではないかと。

**A【都市局長】** 2つの都市計画道路は、平面の4車線道路として計画している。議員ご提案の、地下化や橋上化は、側道などの線形の見直しや膨大な事業費が必要となるので難しい課題。

地域が分断されるとのご意見については、整備の際に、交通管理者や教育委員会、地元のご意見なども伺いながら、横断場所等の配慮に努めてまいりたいと考える。